

事務事業名	水処理センター施設維持管理事業		担当	上下水道部 下水道課 水処理センター	
政策名	5	「環境づくり」～安全なまちアップ!～	施策名	26	下水道事業の推進
成果指標	名称		単位	2 年度実績	
	放流水の水質（BODの平均値）	基準値 15mg/L	mg/L	真岡 3.7mg/L 二宮 2.1mg/L	
	放流水の水質（SSの平均値）	基準値 40mg/L	mg/L	真岡 4.7mg/L 二宮 1.9mg/L	
事業概要	水処理センターは、快適な市民生活環境の確保と、河川等の水質保全を目的として計画された施設で、市民の生活排水等を浄化している。 真岡市水処理センターは、昭和58年3月から供用を開始し、標準活性汚泥法により処理水を五行川に放流している。 二宮水処理センターは、平成7年3月から供用を開始し、オキシデーションディッチ法により処理水を西川に放流している。 また、施設の老朽化が進んでいるのでストックマネジメント計画に基づき施設の耐震化、長寿命化を実施している。				
2 年度 実績・成果・課題	快適な市民生活環境の確保と河川等の水質保全。 国からの補助金が減少しているため、ストックマネジメント事業が予定どおりに実施できない見込みである。				
今後の方向性と 具体策	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 今後は、国からの補助金が減少しているため、ストックマネジメント計画どおりに事業が実施できない見込みである。 したがって、施設更新箇所の優先性と事業の平準化考慮して耐震化、長寿命化を実施していく。				